令和5年度　島根県立松江東高等学校　学校評価表

令和5年度教育目標	分類	令和5年度の重点目標と具体策		主となる分掌、学年会	内容	令和4年度末の分掌評価と次年度への改善策　*学校評価	令和5年度の具体策と指標	評価指標と基準	R5アンケート評価 該当番号 生徒	保護者	教員	評価 生徒	保護者	教員	総合	分掌等による自己評価まとめ 成果と課題	学校関係者評価 評価	意見	学校関係者評価をうけて次年度への改善策
人とつながって生きる力を向上させる（人間力）…多文化協働力	1	活躍の場がある環境作り/居場所のある環境作り、安心・安全な学びの環境作り	支持的風土の醸成、人権教育の推進	**生徒部**、学年会	人権・いじめ・モラル教育（規範）	生徒に対し体系的な人権教育を実施する一方、新たに生活アンケートも取り入れ、学校全体で人権尊重を基盤とする教育活動を推進した。いじめやSNSでのトラブル等の生徒指導上の問題は、生徒部と学年会が連携して取り組み、いじめ対策委員会等を実施して、組織で解決に向けて対応した。今後も情報リテラシーに関する継続的な指導が必要である。学年会や関係分掌、委員会と連携しながら教育活動の基盤に生徒指導を据え、人権感覚を高めるための研修や意識調査を実施する。生活アンケートの項目をより実態的なものに変更し、効果的なものにしていく。入学後の早い段階で生徒が他者と協働するための取組や一人一台PCの状況に合わせて、情報モラル教育の充実を図る。	時間を適守し、場に応じた言動を心がけ挨拶を励行させる。生徒の心身の不調を把握し、不適応にいち早く気づけるようにする。人権感覚や人権尊重の精神を高める。情報社会において安全に情報を活用するための知識と技術を身につけさせる。	・生徒の感想文。 ・生徒アンケート・保護者アンケートの評価。 ・いじめアンケート、生活アンケート等の実施と分析。	1	1	1	A	A	B	A	**衛藤指導部**を**春・秋の二回**、**挨拶指導**にも勤めたが、**教職員の同一歩調と共通理解、意識のもとに生徒指導が進められるよう、生活アンケート等で得た情報をきちんとわかりやすく共有するなど、すべての教職員が生徒指導に関わりやすい環境を整えなければならなかった。** **・「挨拶の励行」を進めてはいるが、部活動に積極的に参加している生徒が多いが、今ひとつ元気が欲しい。部顧問との連携や家庭との連絡を密にし、保護者にも学校方針を理解していただきながら協力を求めていくべきであった。**	A	人権教育（項目2）や生徒会、部活動（項目5）いずれも肯定的評価の割合が高く、日々の取り組みが充実している成果であると思う。 生徒の悩み、相談に答える体制ができていると感じる。 アンケート3、4については生徒が10Pに上救員より低い。8割超と高い値だが、教員並みにあがるように頑張ってほしい。 生徒にとって一番身近な存在であろう担任に対して評価は本来90%以上でなければならない。 平均が51で80%台は、厳しい目で受け止める必要があると思います。	**生徒の生活実態に合わせた生活アンケートの内容に変更しつつ、教職員全体の共通理解を図りながら取り組んでいきたい。**
									2	2	2	A	A	A	A	**情報モラル講演会、各学期の人権・同和教育、毎月の生活安調アート、各学期のいじめアンケートを行った。今年度もスマホ・インターネット・SNSの使用・利用のモラルやリスクについて情報教育を実施し未然防止に努めたが、昨年に引き続きSNSに関する大きなトラブルが発生した。今後も未然防止のため、